

# 大学院ニュースレター

## 久留米大学大学院医学研究科

第84号 / 2017年9月22日発行

編集 / 医学研究科長

### 『大学院研究はオール久留米で結集して』

#### 医学教育研究センター長 神代 龍吉

##### 1. 大学院生のワークライフバランス

その昔、初期臨床研修が始まる頃に当時の教務委員長を含めて3人で文部科学省医学教育課長（当時は寺脇 研氏）を訪ねて行ったことがある。寺脇君と高校で同級だった私が案内役として同行した。その目的は「初期臨床研修の2年を大学院4年間の一部として単位に含められないか」と談判に行ったわけである。しかし寺脇君曰く「大学生をどんどん社会へ出す必要があった戦後とは違って、今は成熟社会なのでじっくり大学で人材を育ててから社会へ出してほしい」。こちらの狙いを上回る答えだった。実際のところ初期研修の2年を終えてからさらに4年間大学院に身を置けば30歳という節目にぶち当たる。結婚や子育ての時期と重なり、ワークライフバランスが難しくなる。大学院のうちに初期研修も終えたことにすれば2年早く学位が取れて、初期研修も終了となる皮算用であった。大学院で研究する時期としては20代前半のうちが望ましいのは言うまでもない。物理や数学の分野であれば10代後半までが勝負かもしれない。その後制度が変わり、初期研修中でも大学院へ行けるようになったが、実際研修中に大学院へ行く人は僅かしかないという。

##### 2. 討論を通じての学びを

大学院生は大学にとっては大切な研究推進軍団である。医局の先輩が研究テーマを考え、実験環境を提供してくれるが、研究の過程では大学院生の視点・視野・展望が新しい分野を切り開くことが多い。教授が意図したこと以外の発

見をもたらしてくれるのは柔軟な発想ができる研究者である。そのため大学院生をベッドフリーにして研究に没頭させ、研究環境を整えて自由な発想が生まれる余裕を与えたい。もう一点、余裕とともに大学院生に必要なのは討論であろう。研究指導者とは別に学生間で沢山討論し、批判をもらったり、アドバイスを与えたりすることで、学生の脳は柔らかくなる。2年前から始まった大学院医学研究科の研究発表会は、その意味で英断であると思う。研究室にこもって孤独感に苛まれた挙句、実験条件をつい甘くして、レベルの低い結果に至ることも私自身経験した。時間的制約や納得していないテーマに追い詰められていれば、そこに捏造や剽窃といった悪の入り込むことが最も怖いことである。研究者同士でLTD (learning through discussion)を盛んにすることが望ましい。

##### 3. 協同作業でオール久留米のパワーを

大学院での研究は、その学生にとっては最初の研究かもしれないが、講座内の一連の研究の一部として連続性をもって計画され、継続されることで「学問体系の一部をなす研究」になるだろう。学生は自分の研究の位置づけを常に把握し、自分のテーマのその先を見越して実験に励んでほしい。

医学の進歩で、研究が臓器から細胞へ、さらには遺伝子へと深くなってきた。しかし対象臓器は違っていても、研究方法はどの講座でも似たようなことが多くなってきた。遺伝子や分子を扱う技術は今のところ各講座で先輩から受け

継がれたり、それぞれがその技術のメッカを巡礼してノウハウを持ち帰ったりしている。方法が似ているならば講座間で協力して必要な技術を共有してはどうだろうか。早い話が多数の講座に分散所属している大学院生が一つの大きな合同実験室で、共通のテクニシャンとともに実験し、同じ試薬を協同購入するのである。資源

の無駄を減らし、知識やノウハウを共有することで、成果も上がるのではないかと思う。大学院学生の交流が制度として始まったので、次は実験設備を共有して協同作業を行い、オール久留米のパワーにまとめ上げることができれば一段と成果が上がるのではないかと思う。



## ～NEWS～

### ◆医学研究科の理念・目的がわかりやすくなりました！

今年5月に院生の皆様を実施しましたアンケートの回答をもとに、医学研究科の理念・目的をわかりやすくキャッチフレーズにしました。医学研究科のホームページにも掲載しています。



#### 地域、世界、未来を担う人材育成と 先駆的学術研究の発信拠点



##### 地域

地域医療に貢献する優れた人材の育成



##### 世界

先駆的な学術研究の実践、幅広い学識と国際的視野を備えた人材の育成



##### 未来

卓越した能力、豊かな教養、人間性を備えた人材の育成

### ◆博士課程募集要項英語版の完成

平成30年度入試より、学生募集要項の冊子を廃止し、WEB上から願書を含む全ての書類をダウンロードする方法に変更になりました。これに伴い、国際化への取り組みとして、外国人志願者のための英語版も完成しました。

### ◆医学研究科案内（名刺サイズ）の作成・設置

広報の一環として、手軽に手に取れる名刺サイズの医学研究科案内を作成しました。駅の構内等に設置しています。

### ◆インタビュー

今回もインタビュー記事をお届けします。医学研究科ホームページでもご覧いただけます。

- 中村美樹さん、大仁田悠さん、秋山由貴さん、菅野美織さん（助産学分野助産師資格1・2年）
- 津崎 たからさん（医学部事務部庶務課学位申請担当）※番外編

FB：<https://www.facebook.com/kurumeugsm/>

HP：<http://www.kurume-u.ac.jp/site/gmed/shosaiart753.html>



## 《事務通信》

### 研究題目及び学位論文提出予定の確認調査実施について

修士課程2学年、博士課程4学年を対象に、研究題目及び学位論文提出予定の確認調査を実施いたします。調査書類に必要事項を記入の上、10月10日(火)までに、必ず医学部事務部教務課までご返送下さい。併せて学位論文の申請・審査手続通知についてもご確認下さい。学位に関して不明な点は、[医学研究科 HP「学位申請情報」](#) → [「学位申請に関するQ&A」](#)をご覧ください。

(学位論文のお問い合わせ先：医学部事務部庶務課学位担当：米村・津崎 3014)

### 第3回学生研究発表会の開催について

今年度も学生研究発表会を12月11日(月)・12日(火)に開催します。ご自身の研究の進捗状況を発信し、講座の枠を超えて横断的にフィードバックを得ることができる機会ととらえ、ふるってご参加ください。エントリー受付期間は9月15日(金)～9月29日(金)です!大学院生の研究発表に加え、英語力を磨くワークショップや懇親会の開催も予定しています。

#### ◆修士・博士課程の皆様へ◆

### 平成29年度 大学院セミナーシリーズ (特別講義) カリキュラムのお知らせ

担当講座	講義日時	会場	講演者	講義テーマ
神経精神医学	10月20日(金) 17:00～18:30	臨床研究棟 2階 カンファランスルーム	中村 純 先生 (社会医療法人北九州病院・北九州古賀病院院長・産業医科大学名誉教授)	プライマリーケア医の日常診療におけるうつ病治療
外科学講座	11月2日(木) 18:00～19:30	臨床研究棟 2階 カンファランスルーム	赤木 究 先生 (埼玉県立がんセンター・腫瘍診断・予防科部長)	遺伝性腫瘍の新たな潮流
整形外科学	11月16日(木) 13:00～14:30	教育1号館 5階 1501 教室	大島 博 先生 (宇宙航空研究開発機構 JAXA)	宇宙医学の現状について
医化学	12月1日(金) 18:00～19:30	基礎1号館 2階会議室	河野 隆志 先生 (国立がん研究センター研究所・ゲノム生物学研究分野・分野長)	遺伝子情報に基づいた肺がんの個別化医療・予防の実現

日時・場所等に変更がある場合には、大学院医学研究科ホームページでお知らせ致します。また、当該科目履修者は5回以上のセミナー出席およびレポートの提出をお願い致します。レポートについては、各セミナー終了後1週間以内に、医学部事務部教務課までご提出下さい。

#### ◆博士課程の皆様へ◆

### 平成29年度博士課程共通科目後期講義計画 及びレポート提出について

共通科目を履修された方には既に通知しておりますが、今一度講義計画及びレポートの提出期限についてご確認の上、所定の期日までにご提出下さい。

#### ●講義計画(後期日程) & レポート提出

実施時期	科目名	科目担当責任者	講義日程/レポート
後期	科学的根拠に基づく医療 (EBM)	鳥村 拓司 教授 (内科学[消化器])	レポート: EBMの功罪について A4 1～2枚(別途指示書あり) 提出期限: 2月5(月)17時 教務課窓口へ提出
後期	知的財産権論	井上 薫 教授 (学長直属)	レポート: 講義時に指示あり
後期	トランスレーショナルリサーチ実習	山田 亮 教授 (先端癌治療研究センター[がんワクチン])	レポート: 講義時に指示

後期	臨床・基礎研究と生命倫理（コンサルテーション）	牛嶋公生 （産婦人科学）	レポート：課題（別途指示書あり） 牛嶋 11/30(木)17時締切、教務課窓口へ提出 稲葉 11/30(木)17時締切、教務課窓口へ提出（4事例のうち2事例を提出） 石原 11/30(木)17時締切、教務課窓口へ提出（別添課題あり） 古賀 12/25(月)小児科医局教室へ提出 福重 12/31(日)12時締切、西棟14階緩和ケアセンター福重教授へ提出
----	-------------------------	-----------------	---

## 平成30年度入学試験 要項決定！！

平成30年度大学院医学研究科入学試験要項が、下記の通り決定しましたのでお知らせ致します。

### 【試験日程】

修士・博士ともに同一

#### \*前期試験

出願受付期間：平成29年9月19日（火）～平成29年9月29日（金）必着

試験期日：平成29年10月17日（火）

合格発表：平成29年11月10日（金）午前10時

#### \*後期試験

出願受付期間：平成30年1月15日（月）～平成30年1月26日（金）必着

試験期日：平成30年2月20日（火）

合格発表：平成30年3月16日（金）午前10時

※他に出願資格審査申請受付期間を設定しているのをご注意下さい。

### 【試験内容】

#### \*修士課程

《医科学専攻 基礎医学群・分子生命科学群・社会医学群》

《看護学専攻 修士論文コース・専門職養成コース》

英語・小論文・面接

《医科学専攻 バイオ統計学群》

英語・面接

#### \*博士課程

英語・面接

出願資格審査、出願方法等詳細につきましては、本学大学院医学研究科ホーム

ページの「入試情報」をご確認下さい。科目等履修生も同時募集中です。QRコード→



**編集後記** 今月から平成30年度学生募集が本格的にスタートしました。本学大学院教育を多くの方々に周知・ご理解いただき、今後も広報活動に力を入れ、より多くの入学希望者に恵まれるよう努めて参りたいと思います。また、12月には3回目となる研究発表会が予定されています。学术交流の機会になりますので、是非エントリーいただきますようお願いいたします。季節の変わり目ですので、どうぞお身体ご自愛ください。（菅）